

様式

| | | | | | |
|-------|---|--------|--|---|---------------|
| 技術名称 | 回転式破砕混合工法 | 技術の分類 | 施工 | NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号) | KT-090048-VE |
| 会社名等 | 日本国土開発(株) | 担当者 | 高垣豊 | 連絡先 | 080-6862-8392 |
| 技術の概要 | 回転式破砕混合工法は、円筒内を高速回転する複数本のフレキシブルのチェーンの打撃力により、地盤材料(建設発生土等)の破砕と細粒化(解砕)を同時に行うとともに、均一に添加材料を分散する効果を有する土質改良工法である。 | 対象者 | <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む) | | |
| | | | 添付資料 | パンフの有無 | 有 |
| | | その他の資料 | | ・Rotary crushing and mixing method、・施工実績表 | |
| 技術の特徴 | <p>■破砕と混合が同時に可能なため、土塊や礫材の破砕、添加材等の混合を1プラントで効率的な処理が可能。</p> <p>■適用土質は、第1種建設発生土から第4種建設発生土及び軟岩、風化岩であり、高含水比粘性土(w=138%)から、粒径250mmまでの軟岩(一軸圧縮強さ:7000kN/m²)までを対応する。</p> <p>■1日の製造量は標準稼働時間5.5時間でTM2250(製造能力145m³/h級)で800~1000m³/日、TM1500(製造能力75m³/h級)で400~500m³/日である。</p> <p>■適用現場は、製造量40,000m³以上の大規模現場(TM2250<プラント設置型> 3発生土+添加材まで対応)から、製造量10,000~40,000m³の中小規模現場(TM1500<プラント設置型>、製造量10,000m³以下の小規模現場(TMSP1500<自走式型>)と幅広く対応。</p> | その他 | <p>■不適要件:鉄筋コンクリート塊、泥土(ベルトコンベアで搬送出来ないもの)</p> <p>■特許使用料(特許番号):施工量1m³当たり50円</p> <p>・回転式処理装置用の処理容器と処理対象物の回転式処理装置(登録番号4970098)</p> <p>・処理対象物の処理方法と処理装置(登録番号4975302)を含め計10件を有す。</p> <p>■実績①島尻層群泥岩のスレーキング材料と他現場で発生した海砂の破砕混合による増設滑走路緑地帯材料の製造 (那覇空港滑走路増設工事:800,000m³)</p> <p>■実績②他現場発生土(粘性土や固結シルト、砂質土)を有効利用し、東京湾の海底窪地による赤潮抑制と漁場環境改善に向けた埋立柱製造 (東京湾浅場造成工事:1,696,300m³)</p> <p>■実績③既設岸壁の液状化対策を目的とした岸壁掘削土による事前混合処理土の製造 (清水港興津岸壁工事:10,600m³)</p> | | |

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。